



すべての子供の成長を保障できる温かな学校に・・・

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われる通り、お彼岸を境にすっかり秋の空気に入れ替わりました。ようやく過ごしやすい陽気になりました。

さて、三連休明けの24日(火)、東っ子の会を開催し、2学期を充実させるべく、校長先生のお話を通して全校で目標を確認しました。運動会の準備や練習がいよいよ本格化していきます。そして、学問の秋も、深まっています。すべての子供にとって、ゆたかな実りの秋、大きく成長する2学期になることを願っています。

本校では「**すべての子供の成長を保障できる温かな学校づくり**」を学校経営目標としています。学校経営目標とは、学校が学校としての使命と役割を果たすために掲げている教職員の目標です。学校には、営利企業のような売上高や利益の目標はありません。学校の使命は、子供たち一人一人が生きる力を備えた人に成長していくことを支援することにあります。成長し続ける子供たちが、よりよい袋井や日本、世界をつくっていってくれると私たちは信じています。

しかしながら、私たち大人が子供たちを成長させるわけではありません。成長していくのは子供たち自身です。我々にできるのは、環境を整えてあげること、成長の元になる教育(お水や肥料)を提供すること、そして、「大きくなあれ、大きくなあれ」と愛情を込めて接することです。

「東っ子の会」校長先生のお話から

「成長する人」と「成長しない人」には、いくつか違いがあります。

まず、**成長する人は「目標」を持っています**。目標があるとやる気がわいてきます。そして、その目標を達成するために何をがんばるべきかを考えるようになります。さらに、目標があると、自分をしっかり見つめるようになります。自分は、今のくらい目標に近づいているのか、あるいは近づいていないのかを理解することで、さらにこの後、どうすべきかを深く考えるようになります。

自分をごまかす人は、成長しません。自分の得意なことやできていることを知っていることは大切です。でも、それ以上に、自分の苦手なことやできていないことを理解することが重要です。できていない自分をごまかしては、成長はありません。分かっ



「私はできる」

ナポレオン・ヒル

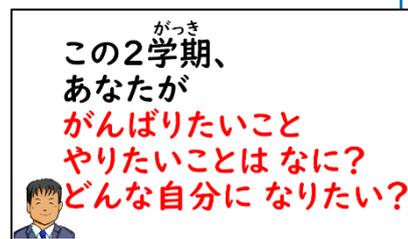
(後半のみ抜粋)

成功している人を見てごらん
最後まで成功を願った人だけが
成功しているのではないか
すべては「あなたの心」が決めるのだ
もしあなたがそう願うなら
あなたはその通りの人になる
強い人が勝つとは かぎらない
すばしっこい人が勝つとは かぎらない
頭のいい人が勝つとは かぎらない
あなたの最初の一步を ふみだそう
私はできる、私はできる
そう願う人が 結局は 勝つのだから

たふりをしてごまかしてしまうことってありませんか。できていない自分と正直に向き合い、それを何とかしようと努力できる人が成長する人です。

そして、成長する人は、自分の可能性を信じています。「こんなのムリ」「私にはできない」「やってもどうせ分らない」学校でも時々耳にする言葉です。これらはすべて自分自身を否定している言葉です。他人から「あなたにはムリ」「あなたにはできない」「あなたはやってもどうせ分らない」なんて言われたら辛いでしよう。そんな否定的な言葉を自分自身に浴びせているとしたら、心の内からエネルギーがわき上がってくることはありません。自分を大切にしてください。

東小の目標「自分も相手も大切にする子」に近づくために、2学期、あなたががんばりたいことは何ですか。あなたは、どんな自分になりたいと思っていますか。2学期が始まって、すでに1か月、時間はどんどん過ぎてしまいます。目標をもってがんばりましょう。



2学期も学校ガードボランティアの皆様、民生委員・児童委員の皆様、こしんでんサポーターの皆様、里山保存会の皆様、ぐりとぐらの会の皆様など、多くの地域の皆様からの御支援いただきながら、教育活動を進めています。

今月10日(火)には、6人の地域の方々(こども園職員、通訳、学芸員、会社経営者、書道家)を講師にお迎えし、6年生が「生き方講座」を開きました。仕事のことを中心にお話を伺いながら、お一人お一人の生き様に触れる機会となりました。前のめりになって話を聞く子供たちの姿、積極的に質問し印象に残った言葉をメモする姿をうれしく思いました。

10月19日(土)の運動会に向けた練習も軌道に乗ってきました。子供たちの成長には、運動会当日よりも、当日までの期間が重要だと考えています。どんな思いをもって練習や準備に取り組んできたの



民生委員・児童委員によるあいさつ運動



生き方講座(通訳さん)



運動会練習の様子(高学年)

かが、当日の気持ちとパフォーマンスに大きく影響します。御家庭でもお子さんの様子を気にかけて、頑張りを認めたり、励ましたりしながら運動会への期待を膨らめていただきたいと思います。

「自分も相手も大切にする子」に向かって全ての教育活動を展開してまいります。引き続き、皆様の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。